

SHINCHI

新地

3

広報



住まいの復興に
大きな一歩

愛宕東災害公営住宅、
被災高齢者共同住宅の
建設を開始

【災害公営住宅模型の一面】



四季を彩る
シンボルツリー

町の花“桜”並木



コンセプトは地域をつなぐ桜坂

県道赤柴中島線沿いの新地町中心部に位置する愛宕東災害公営住宅は、学校などが集積する丘の上を結ぶ桜並木の坂道がある新しい住まいです。

整備主体は、新地町と協定を結んだUR都市再生機構

愛宕東災害公営住宅の建設工事が始まりました。この住宅は、東日本大震災で住宅を失った町民の方々のための町営住宅で、鉄筋コンクリート3階建て4棟を整備します。

1月31日に着工式

愛宕東災害公営住宅の建設が始まりました

3LDKなど30戸を整備

愛宕東災害公営住宅の間取りと戸数は、2DK9戸、3DK6戸、3LDK15戸の合計30戸です。

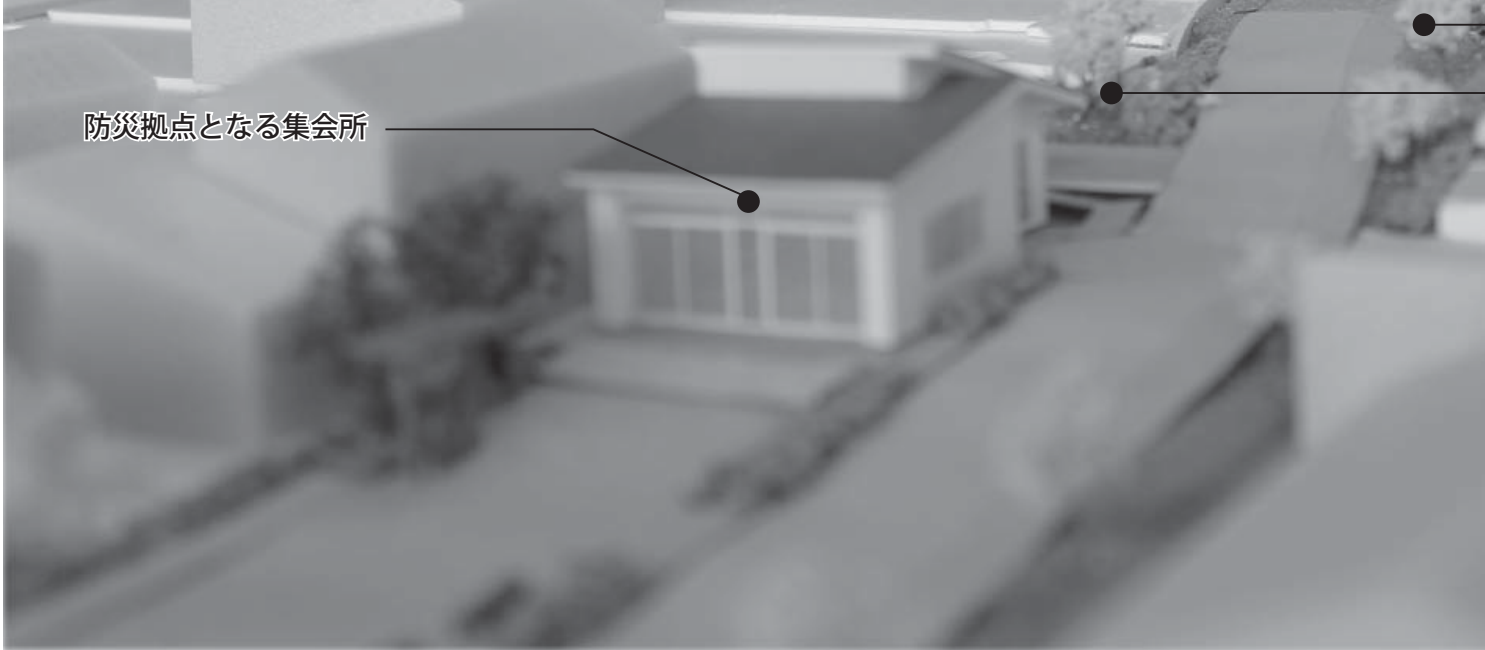
愛宕東災害公営住宅の工事が進む新地町地区内。

▶ 県道赤柴中島線から南方面（尚英中方面）に向かった様子。



隣地に配慮したフェンス+植栽

防災拠点となる集会所



構で、工事の施工は大成ユーレック・大成建設の建設工事共同企業体が行います。

完成予定は12月
入居本申込受付は
7月ごろを予定

今年12月に完成し、平成26年1月入居を計画しています。町では愛宕東災害公営住宅への入居希望のアンケート調査を実施した方々を対象に仮申し込みの受け付けを4月ごろ、本申込の

受付を7月ごろに予定しています。

防集団地5カ所に68戸、駒ヶ嶺原地区に6戸の災害公営住宅を建設予定

また、町では町内7カ所の防災集団移転団地の造成を行っています。（広報しんち2月号参照）そのうち、作田東、作田西、雁小屋、岡、大戸浜の5カ所の防災集団移転団地には、入居後に買い取りができるようになった時に対応しやすいよう、一戸建ての災害公営住宅68戸の建設を予定しています。

このほかにも、総合運動公園こどもの森の南側の駒ヶ嶺原地区に一戸建て6戸の災害公営住宅の建設を予定しています。

愛宕東地区災害公営住宅コンセプト

地域をつなぐ桜坂

県道沿いの既存集落と

学校などが集積する丘の上を結ぶ

桜並木の坂道がある新しい住まい



2 高齢者・子育て層の
安心居住

□ 歩車融合道路

団内道路は通過交通を排除し、イメージ歩道や緩勾配の辻広場などで歩車融合を図ります。

□ 1階住戸に専用庭

1階はバリアフリーアクセス可能な住戸。南側には、入居者が個別に利用できる専用庭を設け、土と接した暮らしができるように配慮しました。

□ 住棟ごとの

“えのめえ”コーナー
北側の玄関先、階段付近には住民の交流を促すポケットコーナー。

“えのめえ” “家の前”は、屋敷の中の通路のことで、昼でも夜でもかまわず通り抜けができたこの地域特有のコミュニティー醸成の仕掛けです。

1 地域の防災拠点整備

□ 既存集落と丘を結ぶ
動線の確保

標高の低い国道沿いに広がる集落と丘の上の中学校を結ぶ動線を、団内の道路（開発道路）として整備し、災害発生時の避難経路を確保します。

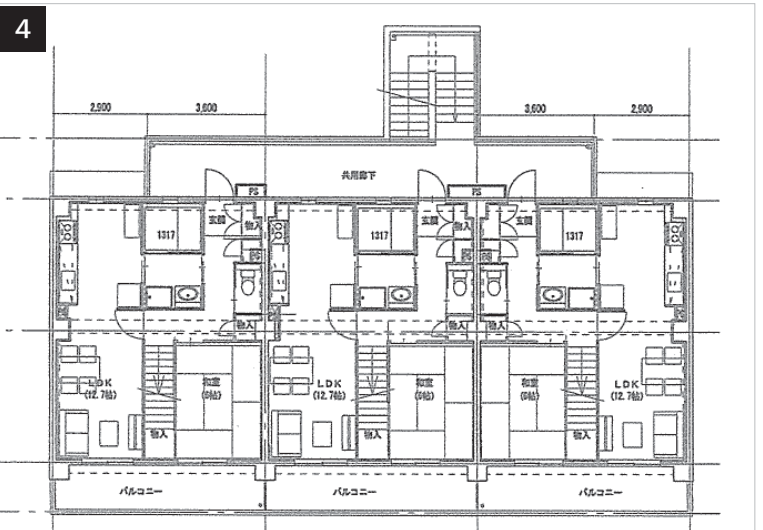
□ 既存施設と連携する
地域防災拠点形成

既存の広場、集会所、消防団倉庫と県道を挟んだ場所に公園と集会所を設け、地域の防災拠点を形成します。

工が進む愛宕東災害公営住宅建設地



- 1 県道赤柴中島線付近から南方面（尚英中方面）に向かった景観イメージ
- 2 尚英中付近から北方面（県道赤柴中島線方面）に向かった景観イメージ
- 3 尚英中付近から北西方面（県道赤柴中島線方面）に向かった景観イメージ
- 4 3LDK間取りの一例（上階に洋室2室が つきます）



全国からの
応援職員

都市計画課
都市計画係

財福島県区画整理協会
鈴木 貴史さん

2年前、被災地調査で沿岸部を訪れ（東日本大震災の約1週間後）被災状況を目の当たりにしたとき、涙が出そうになりました。そのとき無力感に包まれていた自分が新地町の復興に携わることになった今、「一歩でも前へ」の思いと日々の積み重ねが「復興まちづくり」につながり、その結果「転禍為福」となるよう取り組んでいきたいと思っています。

3 環境への配慮

□ 地形を活かした配置計画
既存地形を活かした配置計画とすることで、造成工事を低減し、搬出土量を抑えて環境へのインパクトを抑えます。

□ 太陽光発電の導入
共用部の集会所では、屋根に太陽光発電のパネルを設置し、共用部の一部電力をまかさないです。

□ 地域景観と調和する
勾配屋根

周辺に多く見られる勾配屋根を基本として、集落景観と調和するデザインです。

□ 町の花である

「桜」を活かした景観

中学校に向かって登る坂道に、桜を植樹し復興のシンボルとなる桜坂を創出。

□ 生活様式に対応した
屋外物置

季節ごとに取り替えるタイヤの収納など、生活様式に対応した屋外物置を駐車場とセットで計画しました。

4 地域に根ざした 住宅建設



被災高齢者共同住宅

コンセプトは

新たな絆が生まれる「ひとつ屋根の下」

被災高齢者共同住宅の建設工事が始まりました。

被災高齢者共同住宅は、東日本大震災で住宅を失った高齢者の方々の新たな生活の場となる住宅です。住み慣れた土地から離れて共に暮らす再出発の場として、新たな絆が生まれるように大屋根で各住戸を繋ぐ「ひとつ屋根の下」をコンセプトにしました。

日本赤十字社を通じて台湾赤十字社から約3億円の支援を受けて実現しました。

小川ソリ畑地内で事業着手した被災高齢者共同住宅は、木造平屋三棟で、2DKが7戸・3DKが15戸で、延床面積は約1千4百70平

方メートルです。

入居対象者は、住宅が被災した65歳以上の単身者世帯など

入居の対象者は、津波などで住宅が被災した65歳以上の単身者や夫婦世帯などです。災害公営住宅より安い家賃で入居できます。戸別に玄関を設けてプライベートを尊重しながらも、コミュニティー施設や菜園などの交流空間も設けます。

工事の安全祈る

被災高齢者共同住宅の安全祈願祭・起工式は、2月



全国からの
応援職員

都市計画課
都市計画係

三重県四日市市
山田 広幸さん

復旧・復興へ向けて邁進する町民の方々の姿を見て、少しでも新地町のために頑張ろうという思いを強くしています。

担当している駅前の区画整理事業については、いろいろな問題が山積しておりますが、赴任期間中に1つでも多く片付けられるよう頑張っております。

数年後、家族と共に新地町を訪れ、復興した新地駅前の商店街で“お茶を一杯”することを今から楽しみにしています。

▶ 工事の安全を祈願し、鎌入れをする加藤憲郎町長



▼ 間取りの一例



地場産市場「あぐりや」北側の被災高齢者共同住宅建設予定地

4日、建設予定地の小川ソリ畑地区で行われました。加藤憲郎町長、宍沢正行日本赤十字社福島県支部事務局長らが、鎌やくわ入れなどの地鎮の儀を行いました。施工は、大和ハウス東北美研特定建設工事企業体です。22戸を整備します。完成は10月の予定です。

配置計画
住戸は3棟で構成され、コミュニケーション施設と3DK間取(15戸)と2DK間取(7戸)が計画的に配置されています。敷地中央部に、コミュニケーション広場とコミュニティ施設を設け、住民の方々がゲストを交えて自然に交流が生まれるようになります。また、3棟で構成される住居棟の間隔をもち、計画地全体を広々とした明るい空間に感じられるようにします。災害時にもスムーズな避

難ができるような計画的な住戸の配置になっており、入居者が計画地の中心(コミュニケーション広場)へ集まれる計画としております。住居棟と車の乗り入れ(駐車場)スペースを離す事で、計画地内での事故を未然に防げるように配慮します。

プライベートとコミュニケーション
各住居棟の住戸は、大屋根により軒下が繋がっており、住民同士が行き来できるようにします。

計画地内に「菜園」を設ける事で、自家菜園や花畑など、土に触れる機会を確保する事により、四季の生活に張り合いの醸成とゆりの生活を提供します。

コミュニケーション施設では、給食支援サービスの利用、ボランティアによる生活支援や介護予防サービスなどの利用のほか、入居者同士の集会場としても利用できます。

まちの話題



仮設焼却炉が稼働

震災で発生したがれき処理が加速

新地町と相馬市で発生した災害がれきを処理するための仮設焼却炉（相馬市光陽）が運転を開始しました。

2月20日に行われた点火式には、加藤憲郎町長や目黒静雄町議会議長ら関係者約30名が出席。代表者らが点火スイッチを押し、焼却炉に火を入れました。

この仮設焼却炉では、1日に約570トンのがれきなどが処理できます。



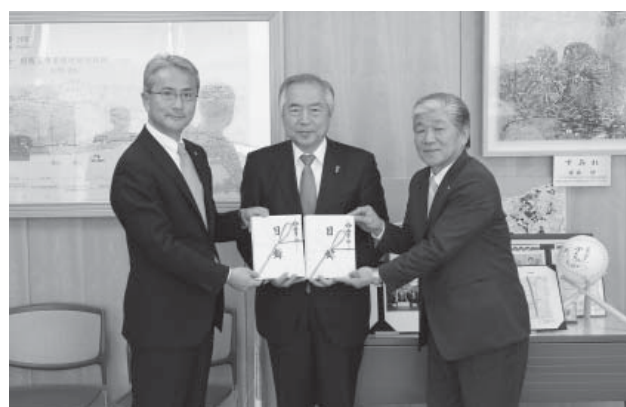
やっぱり民謡

鈴木正夫さんら民謡会のスターが集う

「がんばれ東北 やっぱり民謡」が2月20日、農村環境改善センターで開催されました。

震災により大きな被害を受けた東北を元気にしたいと、民謡人震災復興支援有志の会が主催。

新地町在住の鈴木正夫さんをはじめ、原田直之さん（浪江町）ら福島県ゆかりのプロ歌手の歌声が、来場者のみなさんを魅了しました。



東北電力とユアテックから町へ

防犯灯 20 灯の寄贈を受けました

町では、東北電力(株)相双営業所とユアテック(株)相双営業所から町内に設置する防犯灯20灯の寄贈を受けました。

東北電力相双営業所の小野所長、ユアテック相双営業所の井戸川所長らが2月8日、町役場を訪れ、加藤町長に目録を手渡しました。

これらの防犯灯は、町内の新たな場所への設置や、既存の防犯灯の取り替えなどに利用する予定です。



東北バイオ教育プロジェクト 新地高校でバイオ教育

バイオ産業を担う次世代を育成することを目的としたプロジェクト「東北バイオ教育プロジェクト」が2月26日、新地高校で行われました。

同高校化学部のみなさんが、光の色の違いによる植物の生育状況の違いについて研究した成果を発表。赤・青・緑の色の違う光では、赤色の光を浴びた植物の成長が一番大きかったことなどを発表しました。



福田保育所お茶会

マナーや礼儀作法を学ぶ

福田保育所のお茶会が2月26日、同保育所で行われ、年長クラスの子どもたちが抹茶を味わいながら、茶席のマナーや礼儀作法を学びました。

女の子たちは着物で参加し、少し緊張した面持ちながらも、正しい作法でお茶会に臨んでいました。

抹茶の味ってどんな味？

つぶやき

Aちゃん「こころがあたたかくなる味」



たんぼぼひろば

児童館で恒例の節分イベント

保育所入所前の親子を対象に行われている児童館交流活動の「たんぼぼひろば」では1月30日、節分の日を前に豆まきを行いました。

たんぼぼひろばの恒例イベントとなった豆まきには、今年も多く親子が参加し、にぎやかに豆まきをしました。

図書館へ行こう

=新着本のご案内=

3月の読み聞かせ会

日時 3/16 (土) 11時～

図書館ボランティア「スイミー」の皆さんによる
絵本の読み聞かせなどを行います。

◎一般書

『a b さんご』

黒田 夏子



2つの書庫と巻き貝状の小べやのある「昭和」の家庭で育ったひとり児の運命…。全文横書き、かつ「固有名詞」を一切使わないという日本語の限界に挑んだ超実験小説。「毬」ほか2篇は裏表紙側から縦書きで収録。

『ふくわらい』

西 加奈子



マルキ・ド・サドをもじって名づけられた、有名な編集者の鳴木戸定。感情を表さない彼女は、猪木に憧れるレスラーや盲目の男性との付き合いを通じて、人との距離を少しずつ縮めていく…。『小説トリッパー』連載を単行本化。

『奥の奥の森の奥にいる。』

山田 悠介

『江神二郎の洞察』

有栖川 有栖

『残穢(ざんえ)』

小野 不由美

『カマラとアマラの丘』

初野 晴

『謎(リドル)の謎(ミステリ)その他の謎(リドル)』

山口 雅也

『密室蒐集家』

大山 誠一郎

『スチームオペラ』

芦辺 拓

『花粉症がみるみるよくなる62の対策』

医学博士・健康科学アドバイザー 福田 千晶

『伊達政宗の戦闘部隊 戦う百姓たちの合戦史』

中田 正光

『取り戻せ、日本を。阿倍晋三・私論』

渡部 昇一

『図面の新しい見方・読み方』

桑田 浩志

図書館カレンダー (3月)

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■は休館日



携帯電話用QRコード

◎児童書

『東日本大震災 伝えなければならない100の物語』

学研教育出版



東日本大震災から今日までを、さまざまな人(自衛隊員、消防隊員、役所職員、医師、スポーツ選手、芸能人、主婦、子どもたち、など)の視点で、時

系列につづっています。忘れてはならないあの日とその後を、1巻10話、全100話の壮大な物語。

『じゃんけんのすきな女の子』 松岡 享子/作

大社 玲子/絵



とてもじゃんけんのすきな女の子がいました。だれとてもじゃんけん、何を決めるにもじゃんけん。ある日、とてもだいじなことを決めるじゃんけん勝負がまわっていました!女の子とねこのじゃんけん対決のおはなし。

『魔法の宅急便 魔法のとまり木』

角野 栄子

『緑のカーテン大百科1・2・3』

学研教育出版

『ドラえもん 秘密道具100』

小学館

『チョコレートパン』

長 新太

『中学生の成績が上がる! 勉強のルール』 和田 洋和

◎CD

『花は咲く』

花は咲くプロジェクト

『ベストアルバム 一万六千二百日』

『明日に架ける歌』

宮路 おさむ

『OH! My! Goodness!』

V6

『Super Best Record』

『15th Celebration』

MISIA

『ソング絵本大全集』

サトシン

『テイク・ミー・ホーム』

『リミテッド・イヤーズ・エディション』

◎DVD (館内視聴用)

『絵本読み聞かせ 第1巻・第2巻』



お花見会

3色だんごを作って食べました



保育所から
こんにちは
駒ヶ嶺保育所

もうすぐ一年生！

大きくなったね！

「先生、ピンクのランドセル買ってもらったよ」「満了式、もうすぐだよね」「一年生になるの楽しみ」など、この時期の年長組は、『もうすぐ一年生』という喜びと期待でいっぱいです。

保育所では、年長組の活動として、充実した楽しい保育所生活が送れるように、それぞれに計画をたてて一年間保育をしてきました。

さまざまな体験を経て、体も心もたくましく成長し、子ども達の表情は自信に満ちています。

こんなことをしたよ！

駒ヶ嶺保育所・年長組の活動の一部をご紹介します。



すいか割り

甘くておいしかったね！



生け花

生け花を習い

母の日にプレゼントしたよ



母と子の健康 (3月)		
健康診査	対象者	日時(受付時間)
母子手帳 交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	3月8日(金)
		3月22日(金) 9:00~10:00
3か月児 健診	24年10月28日~ 12月20日生まれ	3月27日(水) 12:20~12:30
2歳児 歯科健診	22年10月~12月生まれ	3月6日(水) 13:00~13:15

◎問い合わせ 保健センター (☎②2096)

3月のたんぽぽひろば

期日	内容	場所
3月13日(水)	閉講式・人形劇	児童館

◎問い合わせ 児童館 (☎②4432)

子どものしゅびやま
コロッセを作る絵本を
読んでいる時
2歳児女児 Kちゃん
「ママね、お家でも
コロッセオッケー作るよ」

3月 行事予定

- おわかれ会**
- 7日(木) 福田保育所・駒ヶ嶺保育所
 - 8日(金) 新地保育所
- 育児サロン**
- 8日(金) 新地保育所
 - 19日(火) 福田保育所
 - 21日(木) 駒ヶ嶺保育所
- 満了式**
- 28日(木) 各保育所

暮らしの情報



3月11日

東日本大震災 新地町追悼式

一昨年発生した東日本大震災では、町民の尊い命が失われました。町では、ご遺族の皆様や町民の皆様とともに、亡くなられた方々を追悼し、町の復旧・復興への決意を誓うため、震災から2年の節目となる3月11日に追悼式を開催します。皆様のご参列をお待ちしております。

日時 3月11日(月) 14時30分～
会場 新地町総合体育館
次第 14時30分 開式
14時40分 政府主催の追悼式を中継放映
14時46分 黙祷
式辞・追悼の辞
献花
閉式

その他 無宗教・献花形式で執り行います。
◎問い合わせ 総務課 (☎②2111)

常磐道建設現場 見学会参加者募集

NEXCO東日本と管内
工事安全協議会では、次の
とおり、新地町民を対象に
した常磐自動車道の建設現
場見学会を開催します。参
加を希望する方は、見学会
事務局に電話でご応募くだ
さい。

見学場所

常磐自動車道工事現場(町
内)

日時 3月31日(日)

午前の部 40名

9時20分集合

12時30分解散

午後の部 40名

13時20分集合

16時30分解散

応募方法

町内在住の小学生以上の方
を対象に電話で申込受付を
します。1家族3名以内で
お申し込みください。

受付期間

3月11日(月)～15日(金)
10時～16時

受付電話番号

(☎③1548)

受付時の確認内容

・代表者の氏名、住所、電
話番号
・参加希望人数(1家族3
名以内)
・希望時間帯(午前の部・
午後の部)

※参加者は抽選により決定
します。
※当選結果は、当選者への
み、3月18日発送の郵送は
がきで連絡します。
※荒天中止の場合は、3月
29日(金)に電話連絡するほ
か、新地町役場1階ロビー
にも掲示します。
※長靴、防寒着、雨具等は
各自ご準備ください。

◎問い合わせ

NEXCO東日本
相馬工事事務所
(☎③1548)

発掘作業員 募集説明会

(財)福島県文化振興財団で
は、常磐自動車道建設に伴

い遺跡発掘の作業員を募集
します。発掘作業員として
雇用を希望する方は、下記
のとおり説明会を開催しま
すので、当日会場までお越
しくください。なお、説明会
に続いて面接を行います。

日時 3月19日(火)13時～

会場

農村環境改善センター
大集会所

募集人数 40名程度

雇用条件

満18歳以上70歳以下で新地
町在住の健康な方
(昭和17年4月2日から平
成7年4月1日生まれの
方)

雇用期間(予定)
4月中旬から6月中旬まで

雇用場所

新地町谷地小屋字南狼沢地
区他

◎問い合わせ

(財)福島県文化振興財団
☎024-534-2733

スポーツ講演会

講師

福島大学人間発達文化学類教授

白石 豊 氏



【プロフィール】

1954年岐阜県生まれ。筑波大学大学院体育研究科修了。現在、福島大学人間発達文化学類教授。日本ヨーガ療法学会理事、福島大学スポーツユニオン理事長などをつとめる一方で、日本を代表するトップアスリート達にメンタルトレーニングの指導を行い、成果を挙げている。また、サッカー・ワールドカップ日本代表岡田武史監督のチームづくりをサポートした。

演題

「やる気と自信を高める
メンタル・トレーニング」

日時

3月28日(木) 19時

場所

農村環境改善センター

入場

無料

※入場整理券が必要です。整理券は新地公民館と総合体育館で配布しています

主催／新地町体育協会 後援／新地町教育委員会 協力／新地町総合型地域スポーツクラブ

問い合わせ／新地公民館 ☎0244-62-2085

e-mail s-koumin@shinchi-town.jp

春のバドミントン講習会参加者募集

日時 3月19日・22日
26日・29日(全4回)
19時30分～21時

会場 尚英中学校

参加料 無料

準備物 体育館シューズ、
ラケット(貸出可)

対象者 小学生から一般
(町内外を問わず)

◎申し込み・問い合わせ

新地町バドミントン協会

☎090-4882-7389

E-mail: hidetoshi.matsuya.2002.2006.@docomo.ne.jp

誕生おめでとう

(平成 25 年 1 月 21 日～平成 25 年 2 月 20 日)

(子ども) (親) (地区)

ゆずき 柚來 加藤武司・桃子 下真弓

あきひろ 晃宏 根本浩充・たまえ 新町

こうき 剛己 前澤竜也・温美 小川

そうすけ 蒼佑 荒洋一・千恵子 今神

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

春季火災予防運動実施中

現在、平成 25 年全国春季火災予防運動が実施されています。大切な命や住居を守るため、次の習慣や対策を確認して、身近なところから火の用心を心がけましょう。

- ①寝たばこをやめる
- ②ストーブの近くに物を置かない
- ③コンロから離れるときは必ず火を消す
- ④住宅用火災警報器を設置する
- ⑤布製品は防災品を使うように心がける
- ⑥消火器を置く
- ⑦もしもの時のため近所と協力体制をつくる

◎問い合わせ 新地消防分署 (☎② 1 1 7)

ご冥福をお祈りします

(平成 25 年 1 月 21 日～平成 25 年 2 月 20 日)

(名前) (年齢) (地区)

菅野喜代子 87 歳 大戸浜

加藤 守 88 歳 小川

鈴木 利己 82 歳 小川

宇佐美三郎 63 歳 小川

森 信 74 歳 大戸浜

荒 ヒデ 85 歳 富倉

佐藤オイチ 94 歳 小川

渡部 キイ 91 歳 菅谷

岩佐慶太郎 62 歳 小川

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

県警からのお知らせ

東日本大震災行方不明者 沿岸部の捜索を行っています

東日本大震災からおよそ 2 年が過ぎようとしています。県内ではなお 2 1 1 名の方が行方不明です。

県警では、現在も沿岸部の捜索を毎日実施しているほか、消防、海上保安庁など関係機関と連携し、毎月潮位の差が最大となる大潮の時期にあわせ、沿岸部の特別捜索を実施しています。

これからも行方不明者の早期発見のため、継続して捜索活動を行っていきます。ご家族の皆さまから、「ここを重点に探してほしい」というご意見、ご要望がありましたら、遠慮なくお知らせください。

◎問い合わせ

県警察本部災害対策課 (☎0 2 4 - 5 2 3 - 5 8 1 1)

相馬警察署 (☎③ 3 1 9 1)

人の動き

住民基本台帳

人口 / 8,026 人 (+ 2)

男 / 3,963 人 (- 1)

女 / 4,063 人 (+ 3)

世帯数 / 2,582 世帯 (+ 2)

2 月 1 日現在 () は前月比

新地町環境都市町民フォーラム

～環境と暮らしの未来（希望）が見えるまち～

3月25日(月) 13時30分～15時30分
農村環境改善センター

町では、復興と一体となった環境未来都市の実現に取り組んでいるところですが、広く理解と協力の輪を広げ、また、これからの町の方向性について考えていくため、次のとおり「環境と暮らしの未来（希望）が見えるまち」をテーマに、新地町環境都市町民フォーラムを開催します。

どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

基調講演

復興と環境と経済が調和した新地の環境都市に向けて（仮題）
— 持続可能な環境都市の暮らしと産業の共生の実現に向けて —

独立行政法人国立環境研究所

藤田 壮 氏

東京大学都市工学科卒業、ペンシルバニア大学院都市計画修士、東京大学博士（工学）。東洋大学工学部教授を経て、現在は国立環境研究所環境都市システム研究プログラム総括。専門は環境システム学、都市環境計画、環境技術評価、エコタウン、都市産業共生システム。



町では、独立行政法人国立環境研究所と、復興と環境都市の推進に関して連携・協力に関する基本協定を締結することになりました。

本協定は、町及び国立環境研究所が、包括的な連携のもと、再生可能エネルギーの活用をはじめとした環境分野における相互の協力関係を深化させ、もって復興と環境と経済が調和した持続可能な環境都市の暮らしと産業の実現に寄与することを目的とするものです。

環境分野における人材育成、研究成果等の地域還元や普及啓発などを行っていく予定です。

(独) 国立環境研究所：環境行政の科学的・技術的基盤を支え、幅広い環境研究に総合的に取り組む研究所。

パネルディスカッション

新地町の環境未来都市の実現と復興に向けて（仮題）
東京国際大学商学部 教授 生井澤 進 氏 ほか

◎問い合わせ

企画振興課 環境未来都市推進室 (☎② 2 1 1 2)

